

令和 5年 6月 19日

白岡市議会議長 大 島 勉 様

提出者 白岡市議会議員 細井 藤夫

賛成者 白岡市議会議員 遠藤 誠

賛成者 白岡市議会議員 野々口 眞由美

賛成者 白岡市議会議員 石渡 征浩

賛成者 白岡市議会議員 斎藤 信治

賛成者 白岡市議会議員 尾嶋 一雄

賛成者 白岡市議会議員 和賀 正義

個人番号カード（マイナンバーカード）の信頼できる運用を求める  
意見書について

個人番号カード（マイナンバーカード）の信頼できる運用を求める意見  
書について、所定の賛成者を得て、別紙のとおり、白岡市議会会議規則（平  
成24年白岡町議会規則第1号）第14条第1項及び第2項の規定により  
提出します。



## 議員提出議案第3号

### 個人番号カード（マイナンバーカード）の信頼できる運用を求める意見書

#### 1 提案の理由

個人番号カード（マイナンバーカード）の運用の相次ぐミスやトラブルにより、不安に思う市民は多い。そこで、市民の個人情報と権利を守り市民が不利益を被ることがないように、本制度における問題点の改善と信頼できる運用を求める意見書を提出したため。

## 個人番号カード（マイナンバーカード）の信頼できる運用を求める意見書

### 1. 意見の趣旨

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)に基づき発行されている個人番号カード（マイナンバーカード）の運用に関しては、相次ぐミスやトラブルが発生しており、マイナンバーカードの取得をめぐる不安を感じる市民が少なくない。

しかし、ミスやトラブルを根本的に解決することなく、令和5年6月9日に閣議決定した「デジタル社会の実現に向けた重点計画」の改定において、マイナンバーカードの普及、マイナンバーの利活用促進をうたい、さらに用途を広げようとしていることは、今後の市民生活に大きく影響する問題であると認識するものである。

また、マイナンバーカードに「健康保険証機能」をもたせることを前提とした現行の「健康保険証」廃止の方向性については、市民の医療を受ける権利が侵害される懸念が生じている。

そこで、市民の個人情報と権利を守り市民が不利益を被ることがないように本制度における問題点の改善と信頼できる運用を求め、意見する。

### 2. 問題点

- (1) マイナンバーカードに別人の保険証情報が誤登録されること。
- (2) コンビニエンスストアで別人の証明書発行がされること。
- (3) 公金受け取り口座が別人のマイナンバーカードに登録されること。
- (4) マイナポイントが別人に付与されること。
- (5) 地方職員共済組合におけるひも付けの誤登録が生じていること。
- (6) 「マイナ保険証」を既に導入している医療機関において、適切な医療提供が出来ないとの指摘が生じていること。

### 3. 具体的な意見

- (1) マイナンバーカードの交付及びマイナ保険証の登録は、申請によることになっているが健康保険被保険者証は、申請ではなく被保険者に当然に交付されている。健康保険被保険者証に替わる「資格確認書」も申請によらず交付すること。
- (2) 認知症や障害のある人などマイナンバーカード及びマイナ保険証の申請が困難な被保険者に対し「資格確認書」を申請によらず交付すること。
- (3) 高齢者施設や障害者施設の入所者に対し「資格確認書」を申請によらず交付すること。
- (4) 医療機関におけるマイナ保険証（オンライン資格確認）システムの不具合が生じた場合においてもスムーズに医療を受けられるように、マイナ保険証登録者にも「資格確認書」を交付すること。
- (5) マイナンバーカードを紛失したときに「資格確認書」を利用できるようにシステムを構築すること。
- (6) ヒューマンエラーを防ぐシステムを構築し、マイナンバーカードの発行及び運用に関わる諸問題の根本的な解決に努めること。

(7) 丁寧な対応と情報提供を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

埼玉県白岡市議会議長 大 島 勉

衆議院議長 様  
参議院議長 様  
内閣総理大臣 様  
総務大臣 様  
厚生労働大臣 様  
デジタル庁長官 様